

介護業界のパイオニア ICT 機器に特化し職員の 業務負担の軽減に尽くす

Top Interview

社会福祉法人青森社会福祉振興団 理事長

1983年に社会福祉法人青森社会福祉振興団に入職し、2019年に理事長に就任。ソフト作成・管理ソフトを開発し、見守りシステムや天井走行リフトなどさまざまなICT機器を導入するなど、介護業界のパイオニアとして職員の労働環境の改善に尽力している。外国人人材の確保にも積極的に取り組んでいる

中山

辰巳

Nakayama Tatsumi



SEの経験も活かし ICT機器を積極的に導入

—青森県むつ市を中心に事業を展開されていますが、仙台にも特別養護老人ホームを設立したと聞きました。



東京の大学を卒業後、長年システムエンジニア職に就いていましたが、初代理事長の父に懇願され1983年に青森社会福祉振興団に入職しました。2019年に理事長に就任し、「創意と工夫、努力と情熱」を法人理念としてより快適な介護環境をつくるために「目配り、気配り、心配り」を基本に創造的な介護のあり方を追求しています。

青森県むつ市を中心に特別養護老人ホームや訪問介護、デイケアサービス、デイサービス、グループホームなどを運営しており、利用者一人ひとりの心地よさを大切にしています。

高齢化による人口減少で介護需要の減少が見込まれるなか、事業を拡大していくことが必要だと考え、むつ市のほかに昔からご縁のあった宮城県仙台市で特別養護老人ホーム「まるめろ」を2022年6月に設立しました。

—ICT機器の導入に積極的に取り組んでおられます。

15年前にデンマークへ海外研修に行った際、日本こそICT化が進んでいる国だと

災害時にも強い完全調理品ですから、2週間分の備蓄も用意できて職員の安心感も増しています。

AIによるケアプラン作成 に向けてシステムを開発中

—外国人材の活用や海外での事業展開も積極的に進められているそうですね。



2014年にベトナムで「フエ事業所」を開設し、現地の人に日本語や高齢者介護に関する理論や技術などの教育を始めました。

ベトナムも高齢化が進んできています。現地のニーズに合わせるため日本式介護を輸出し、できるだけ日常生活を自宅で送れるよう日本の介護をベースとした施設入居サービスやヘルパー事業を展開することを計画しています。

日本でも2009年に、インドネシア人介護福祉士候補者を受け入れ、2017年には技能実習生の受け入れも開始し、育成に積極的に取り組んでいます。

—今後の展望について教えてください。

生成AIを活用した自動ケアプランのシステム開発に取り組んでいます。今年の12月、来年の1月に稼働を予定しており、プロジェクトメンバー全員で意見を出し合い、より良いシステムに仕上げたいと考えています。

AIはどんどん進化していますので、人

考えていましたが、スマートフォンやタブレットで職員のシフト管理や介護記録の確認ができるなど、日本より圧倒的にICT化が進んでいるのを目の当たりにして、予想外のことに驚きを隠せませんでした。この出来事をきっかけに、法人が運営している全施設にさまざまなICT機器を積極的に導入するようになりました。

介護の生産性を上げるためすべての居室に自動体位交換マットを設置したほか、プログラミングの経験を活かして職員のシフトを管理する「びっくりシフトさん」を共同開発しました。見守りシステム、天井走行リフトなどの導入も進め、利用者の安全と職員の業務負担の軽減に取り組んでいます。

しかし、ICT機器は手段の一つにすぎず、目的を明確にしておくことがとても重要です。職員の業務改善の推進という目的を意識しながら、これからもシステムの活用に励んでいきたいと思っています。

最近ではナリコマガグループの「ニュークックチル」を導入しました。「再加熱後の盛りつけに時間がかかる」といった課題を克服した新しい調理方式で、盛りつけをした状態で再加熱を行うことができるため手間がかからず、調理の効率化につながっています。キッチンスペースも広くとれ、人件費や光熱費の削減につながったりするなど、非常に便利です。

間が考えつかなくなったプランの作成ができないのではないかと期待しています。ケアマネジャーが経験や事例を積み重ねて作成するケアプランと、AIが生成したケアプランの違いを検証してみるのが非常に楽しみです。

海外事業について、日本の利用者を対象に、日本が寒い時期にベトナムに滞在してもらおう「長期滞在型ホテル兼老人ホーム」の運営も視野に入れています。

今後、人材が不足していく状況が続くのであれば、やはりAIやICTなどの存在は重要になってくると思います。ICT機器の活用を通じて、より快適な介護環境の提供をめざし続けます。

(撮影/佐久間直美)

ナリコマガグループについてはこちら↓



社会福祉法人 青森社会福祉振興団

1974年に設立。青森県むつ市を中心に特別養護老人ホームや訪問介護、デイサービスなどを運営している。2022年には宮城県仙台市に特別養護老人ホーム「まるめろ」を設立し、ICT機器の積極導入を図るなど、職員の業務負担軽減に力を入れている。海外事業の拡大に向けて外国人材の確保も積極的に行っている。

青森県むつ市十二林11-13
0175-23-1600
michinoku.jp